

2022年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月14日

上場会社名 株式会社 AFC-HD アムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL https://www.ams-life.co.jp/

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 浅山 雄彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役会長室長 (氏名) 南方 茂穂 TEL 054-281-5238

定時株主総会開催予定日 2022年11月29日 配当支払開始予定日 2022年11月30日

有価証券報告書提出予定日 2022年11月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期の連結業績(2021年9月1日~2022年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期	22,997	—	1,011	—	1,343	—	735	—
2021年8月期	22,368	—	2,245	—	2,161	—	1,495	—

(注1) 包括利益 2022年8月期 827百万円(—%) 2021年8月期 1,516百万円(—%)

(注2) 今期より、新収益認識基準を適用しております。

売上高及び利益面において影響が生じるため、対前期増減率は記載しておりません。

なお、従来の会計基準の場合の売上高は、32,613百万円(対前期比145.8%)であります。

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年8月期	52.33	52.08	6.1	3.7	4.4
2021年8月期	107.12	106.30	13.4	8.0	10.0

(参考) 持分法投資損益 2022年8月期 -百万円 2021年8月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期	37,348	12,445	33.2	884.53
2021年8月期	35,752	12,660	33.1	833.44

(参考) 自己資本 2022年8月期 12,461百万円 2021年8月期 11,827百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年8月期	1,492	△1,611	1,692	10,257
2021年8月期	2,582	△274	2,185	8,667

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年8月期	—	12.50	—	15.00	27.50	385	25.7	3.5
2022年8月期	—	15.00	—	15.00	30.00	420	57.3	3.5
2023年8月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00		43.9	

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,187	8.9	681	51.1	662	3.0	365	18.8	26.00
通期	24,741	7.6	1,481	46.5	1,435	6.9	800	8.8	56.99

※注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ②①以外の会計方針の変更 : 無
 ③会計上の見積りの変更 : 無
 ④修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年8月期	14,387,699株	2021年8月期	14,387,699株
② 期末自己株式数	2022年8月期	352,594株	2021年8月期	196,594株
③ 期中平均株式数	2022年8月期	14,051,944株	2021年8月期	13,961,560株

(参考) 個別業績の概要

2022年8月期の個別業績（2021年9月1日～2022年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期	11,599	—	905	—	1,045	—	724	—
2021年8月期	14,370	—	1,080	—	1,165	—	867	—

(注) 今期より、新収益認識基準を適用しております。

売上高及び利益面において影響が生じるため、対前期増減率は記載しておりません。

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期	51.55	51.31
2021年8月期	62.15	61.67

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期	27,428	10,163	37.0	722.39
2021年8月期	26,548	10,098	37.7	705.25

(参考) 自己資本 2022年8月期 10,138百万円 2021年8月期 10,008百万円

※決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】P4（今後の見通し）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、新業態への進出による経営の多角化と自社グループ内に様々な業態を持つことにより、自社グループ内で全てを完結する複合企業体を目指しております。昨年5月26日に株式会社さいか屋を、昨年6月1日に株式会社なすびを連結子会社化いたしました。また、昨年3月30日に株式会社エーエフシー不動産を、昨年10月1日に株式会社AFC建設を新設いたしました。

業績につきましては、連結子会社が増加したことに加え、医薬品事業の売上高が前期を上回る結果となり、連結売上高は22,997百万円となりました。損益面につきましては、新たに加わった連結子会社の業績が新型コロナウイルス感染症による影響を受けており、営業利益は1,011百万円、まん延防止等重点措置に関わる営業時間の短縮要請協力金及び雇用調整助成金などの営業外収益を加え、経常利益は1,343百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は735百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

・OEM部門

機能性を表示できるダイエット関連製品や骨・筋肉・関節ケア製品の受注が堅調に推移いたしました。また、ネット通販業の顧客において一般の健康食品から機能性表示食品への切り替えが活発に進み、広告規制により鈍化していた受注が回復し始めております。引き続き、学術部門と連携を取り、機能性表示食品の届出支援を含む提案営業、製品開発を強化してまいります。

生産設備については、生産効率向上を目的に機械化の検討、推進に取り組んでまいります。

・自社製品販売部門

店舗販売は、来客数の増加や催事・相談会等の実施数増加による増収など回復基調で推移いたしました。海外販売は、新型コロナウイルス感染拡大による影響があるものの、既存顧客における美容商材の受注が好調を維持いたしました。イスラム圏での売上拡大を図るため、ハラル認証取得の準備を進めております。通信販売は、機能性表示食品の受注が伸長したことに加え、越境ECでの受注が増加いたしました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高15,141百万円、営業利益1,990百万円となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品につきましては、重点販売製品として位置付けている自社製造、医療用ジェネリック医薬品『ピムロ顆粒』（下剤）、生活習慣改善薬のジェネリック医薬品『シルデナフィル錠』『フィナステリド錠』『タダラフィル錠』が順調に売上を伸ばしたほか、一般用医薬品のOEM受注が増加した影響が加わり、利益面において安定的に黒字が出せる体制となりました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が1,771百万円（前期比112.57%）、営業利益179百万円（前期比123.04%）となりました。

③百貨店事業

当期より、㈱さいか屋（証券コード：8254）のグループ通期売上高4,701百万円を取り込んでおります。従来の会計基準では14,312百万円に相当します。

昨年5月26日、㈱さいか屋株式の過半数（議決権の所有割合50.36%）を取得し連結子会社化いたしました。昨年10月20日、横須賀店にカラオケ・ダーツ・e-スポーツのフロア「娯楽の殿堂さいか屋eSTAGE」、美と健康ショップ「サロン・ド・AFC」を新規オープンいたしました。続いて、3月9日、藤沢店に買取専門店「買取サロン」を新規オープンし、お客様に喜ばれる百貨店になるよう積極的に先行投資を続けております。経費面では、借入金支払利息、商品券支払保証料、役員人件費、支払家賃の削減を実施いたしました。また、歩率の改善に努めております。

以上の結果、百貨店事業の業績は、売上高が4,700百万円、営業損失249百万円となりました。

④飲食事業

昨年6月1日、㈱なすび株式100%を取得し連結子会社化いたしました。10月4日に近江牛焼肉レストラン「すだく」、10月26日に回転寿司店「一富士丸」、11月10日にベーカリーカフェ「GALLEY（ギャレイ）」を新規出店し、先行投資を行っております。既存店においてはケータリング事業「なすび庵」が比較的順調に推移いたしました。全体としては3月のまん延防止等重点措置解除後、徐々に来客数が戻り始めております。継続したコロナ禍の不安定な状況下ではありますが、商品開発の強化、既存ブランドの再構築及びアルコール業態から食事に重点をおいたメニュー編成など事業モデルの再構築を進めております。

以上の結果、飲食事業の業績は、売上高が920百万円、営業損失354百万円となりましたが、営業外収益として、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置に関わる営業時間の短縮要請協力金及び雇用調整助成金などがあり、㈱なすび単体の経常損益は38百万円のプラスとなりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 流動資産

当連結会計年度末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,272百万円増加し、17,125百万円となりました。この増加要因は主として、流動資産のその他が137百万円、商品及び製品が108百万円減少した反面、現金及び預金が1,155百万円、受取手形及び売掛金が333百万円増加したことによるものであります。

② 固定資産

当連結会計年度末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ323百万円増加し、20,223百万円となりました。この増加要因は主として、減価償却等により有形固定資産が88百万円減少、のれんの償却等により無形固定資産が195百万円減少した反面、保証金の差入等により投資その他の資産が608百万円増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当連結会計年度末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,416百万円増加し、13,218百万円となりました。この増加要因は主として、1年以内返済予定の長期借入金844百万円、商品券回収損失引当金が633百万円、流動負債のその他が589百万円、商品券が555百万円、未払法人税等が471百万円減少した反面、短期借入金が2,853百万円、契約負債が1,316百万円、支払手形及び買掛金が447百万円増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当連結会計年度末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ395百万円増加し、11,684百万円となりました。この増加要因は主として、長期借入金が444百万円増加したことによるものであります。

⑤ 純資産

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ215百万円減少し、12,445百万円となりました。この減少要因は主として、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が482百万円増加した反面、株式会社横浜銀行から当社連結子会社である株式会社さいか屋が発行したA種優先株式の全部を取得したこと等により、非支配株主持分が737百万円減少したことによるものであります。なお、このA種優先株式(発行価額741百万円)を533百万円で取得しており、差額の208百万円については、資本剰余金が増加しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,590百万円増加し、当連結会計年度末は10,257百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は1,492百万円（前期比1,090百万円の収入減）となりました。

これは主として、法人税等の支払額993百万円などにより資金が減少した反面、税金等調整前当期純利益1,235百万円、減価償却費853百万円、仕入債務の増加額447百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1,611百万円（前期比1,336百万円の支出増）となりました。

これは主として、定期預金の払戻による収入1,128百万円などにより資金が増加した反面、有形及び無形固定資産の取得による支出957百万円、敷金及び保証金の差入による支出906百万円、定期預金の預入による支出693百万円などにより資金が減少したものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は1,692百万円（前期比492百万円の収入減）となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出1,034百万円、配当金の支払額421百万円、自己株式取得による支出288百万円などにより資金が減少した反面、短期借入金の純増加額2,853百万円、長期借入れによる収入635百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

活動制限の緩和を受け、特に、百貨店事業の㈱さいか屋は、外出機会の増加に伴う衣料品や靴・バッグ等の販売増、帰省の増加に伴う菓子等の手土産や来客用グルメの販売増が見込まれます。また、飲食事業の㈱なすびは、個人客を中心に来客数が戻り始めており、2022年秋頃から徐々に、会食や宴会需要が増えると予測しております。これらにより、当社グループの業績は上向きに推移するものと思われま

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移や国内外の諸情勢を考慮の上、国際財務報告基準（IFRS）の適用について適切に対応していく方針であります

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,222,136	10,377,778
受取手形及び売掛金	2,244,682	2,578,619
商品及び製品	1,637,968	1,529,950
仕掛品	853,393	834,751
原材料及び貯蔵品	1,360,068	1,363,303
その他	594,534	456,670
貸倒引当金	△60,386	△15,816
流動資産合計	15,852,396	17,125,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,315,272	20,761,436
減価償却累計額	△16,680,695	△15,509,490
建物及び構築物(純額)	5,634,576	5,251,945
機械装置及び運搬具	3,644,523	3,697,522
減価償却累計額	△2,763,064	△2,959,133
機械装置及び運搬具(純額)	881,459	738,388
土地	9,333,625	9,604,660
建設仮勘定	3,590	180,630
その他	1,033,436	1,029,143
減価償却累計額	△875,037	△881,952
その他(純額)	158,399	147,191
有形固定資産合計	16,011,651	15,922,817
無形固定資産		
のれん	1,491,664	1,338,673
その他	160,964	118,076
無形固定資産合計	1,652,628	1,456,749
投資その他の資産		
投資有価証券	736,408	849,012
繰延税金資産	120,772	35,215
その他	1,397,941	2,017,396
貸倒引当金	△19,395	△57,789
投資その他の資産合計	2,235,726	2,843,836
固定資産合計	19,900,007	20,223,403
資産合計	35,752,403	37,348,660

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,966,799	3,414,316
短期借入金	3,962,533	6,816,513
1年内返済予定の長期借入金	1,027,091	182,320
未払法人税等	646,464	175,292
商品券	555,410	—
賞与引当金	196,726	152,512
商品券回収損失引当金	633,609	—
ポイント引当金	63,235	—
契約負債	—	1,316,910
その他	1,750,422	1,160,883
流動負債合計	11,802,291	13,218,748
固定負債		
長期借入金	9,691,252	10,136,122
長期末払金	89,163	39,499
繰延税金負債	298,568	265,547
役員退職慰労引当金	201,449	230,435
退職給付に係る負債	773,571	770,959
その他	235,190	242,198
固定負債合計	11,289,195	11,684,762
負債合計	23,091,486	24,903,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,438,494	2,617,576
利益剰余金	7,420,777	7,903,138
自己株式	△141,364	△305,391
株主資本合計	11,849,746	12,347,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,937	△808
為替換算調整勘定	7,701	25,907
退職給付に係る調整累計額	16,855	42,259
その他の包括利益累計額合計	△22,380	67,358
新株予約権	90,138	24,568
非支配株主持分	743,413	6,058
純資産合計	12,660,917	12,445,149
負債純資産合計	35,752,403	37,348,660

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
売上高	22,368,076	22,997,127
売上原価	15,503,067	14,418,164
売上総利益	6,865,008	8,578,963
販売費及び一般管理費	4,619,768	7,567,815
営業利益	2,245,239	1,011,147
営業外収益		
受取利息	3,471	4,058
受取配当金	11,752	12,533
投資有価証券売却益	9,769	20,128
受取賃貸料	27,385	40,494
負ののれん償却額	1,139	—
助成金収入	13,993	335,174
役員退職慰労引当金戻入額	10,810	—
その他	12,243	23,733
営業外収益合計	90,567	436,125
営業外費用		
支払利息	50,040	57,591
投資有価証券売却損	13,439	5,138
賃貸費用	18,249	23,861
製品回収関連費用	3,388	—
支払手数料	41,961	—
控除対象外消費税	27,365	—
その他	19,392	17,487
営業外費用合計	173,837	104,078
経常利益	2,161,969	1,343,193
特別利益		
固定資産売却益	299	285
新株予約権戻入益	249	—
特別利益合計	549	285
特別損失		
固定資産売却損	—	61
固定資産除却損	3,980	73,084
投資有価証券評価損	—	4,712
減損損失	730	15,419
役員退職慰労金	—	8,346
その他	—	6,415
特別損失合計	4,710	108,039
税金等調整前当期純利益	2,157,807	1,235,439
法人税、住民税及び事業税	735,839	468,306
法人税等調整額	△73,480	29,615
法人税等合計	662,358	497,922
当期純利益	1,495,449	737,517
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△104	2,163
親会社株主に帰属する当期純利益	1,495,554	735,353

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
当期純利益	1,495,449	737,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,746	46,129
為替換算調整勘定	9,724	18,206
退職給付に係る調整額	△1,374	25,403
その他の包括利益合計	21,097	89,739
包括利益	1,516,546	827,256
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,516,651	825,093
非支配株主に係る包括利益	△104	2,163

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,131,839	2,195,880	6,238,981	△59,314	10,507,387
当期変動額					
剰余金の配当			△313,758		△313,758
親会社株主に帰属する当期純利益			1,495,554		1,495,554
自己株式の取得				△152,839	△152,839
株式交換による増加		242,649		70,788	313,438
連結子会社の自己株式取得による持分の増減		△35			△35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	242,614	1,181,795	△82,050	1,342,359
当期末残高	2,131,839	2,438,494	7,420,777	△141,364	11,849,746

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益 累計額合計			
当期首残高	△59,684	△2,023	18,229	△43,477	—	—	10,463,909
当期変動額							
剰余金の配当							△313,758
親会社株主に帰属する当期純利益							1,495,554
自己株式の取得							△152,839
株式交換による増加							313,438
連結子会社の自己株式取得による持分の増減							△35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,746	9,724	△1,374	21,097	90,138	743,413	854,648
当期変動額合計	12,746	9,724	△1,374	21,097	90,138	743,413	2,197,007
当期末残高	△46,937	7,701	16,855	△22,380	90,138	743,413	12,660,917

当連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,131,839	2,438,494	7,420,777	△141,364	11,849,746
会計方針の変更による累積的影響額			170,250		170,250
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,131,839	2,438,494	7,591,027	△141,364	12,019,997
当期変動額					
剰余金の配当			△423,243		△423,243
親会社株主に帰属する当期純利益			735,353		735,353
自己株式の取得				△288,891	△288,891
自己株式の処分		△29,104		124,864	95,760
連結子会社株式の取得による持分の増減		208,219			208,219
連結子会社の自己株式取得による持分の増減		△32			△32
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	179,082	312,110	△164,026	327,166
当期末残高	2,131,839	2,617,576	7,903,138	△305,391	12,347,163

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益 累計額合計			
当期首残高	△46,937	7,701	16,855	△22,380	90,138	743,413	12,660,917
会計方針の変更による累積的影響額							170,250
会計方針の変更を反映した当期首残高	△46,937	7,701	16,855	△22,380	90,138	743,413	12,831,167
当期変動額							
剰余金の配当							△423,243
親会社株主に帰属する当期純利益							735,353
自己株式の取得							△288,891
自己株式の処分							95,760
連結子会社株式の取得による持分の増減							208,219
連結子会社の自己株式取得による持分の増減							△32
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	46,129	18,206	25,403	89,739	△65,570	△737,354	△713,185
当期変動額合計	46,129	18,206	25,403	89,739	△65,570	△737,354	△386,018
当期末残高	△808	25,907	42,259	67,358	24,568	6,058	12,445,149

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,157,807	1,235,439
減価償却費	611,631	853,629
のれん償却額	37,107	152,991
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,241	△6,176
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,639	△44,214
商品券回収損失引当金の増減額 (△は減少)	9,444	—
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	7,886	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	36,825	33,607
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,590	28,986
受取利息及び受取配当金	△15,224	△16,592
支払利息	50,040	57,591
固定資産売却損益 (△は益)	△299	△223
固定資産除却損	3,980	73,084
投資有価証券売却損益 (△は益)	3,669	△14,990
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4,712
新株予約権戻入益	△249	—
助成金収入	△13,993	△335,174
減損損失	730	15,419
売上債権の増減額 (△は増加)	294,359	△332,583
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△361,408	123,424
仕入債務の増減額 (△は減少)	△84,875	447,300
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△97,472	232,404
その他	262,785	△294,251
小計	2,906,733	2,214,384
利息及び配当金の受取額	15,205	16,445
利息の支払額	△31,110	△58,449
助成金の受取額	13,793	313,844
法人税等の支払額	△321,925	△993,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,582,697	1,492,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△696,000	△693,000
定期預金の払戻による収入	696,000	1,128,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△492,076	△957,971
有形及び無形固定資産の売却による収入	3,142	3,015
投資有価証券の取得による支出	△27,072	△501,458
投資有価証券の売却による収入	173,478	453,626
敷金及び保証金の差入による支出	△28,821	△906,718
敷金及び保証金の回収による収入	54,600	391,056
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△662,511	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	664,143	2,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△533,298
その他	40,149	3,532
投資活動によるキャッシュ・フロー	△274,967	△1,611,215
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,210,000	2,853,980
長期借入れによる収入	9,500,000	635,000
長期借入金の返済による支出	△5,580,518	△1,034,901
自己株式の取得による支出	△152,839	△288,891
配当金の支払額	△312,510	△421,999
その他	△58,828	△50,278
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,185,303	1,692,910
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,460	16,529
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,496,493	1,590,642
現金及び現金同等物の期首残高	4,170,642	8,667,136
現金及び現金同等物の期末残高	8,667,136	10,257,778

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2)
	ヘルスケア 事業	医薬品事業	百貨店事業	飲食事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,431,110	1,573,328	3,206,085	157,551	22,368,076	—	22,368,076
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,431,110	1,573,328	3,206,085	157,551	22,368,076	—	22,368,076
セグメント利益又は損 失(△)	2,977,530	145,773	△118,318	△87,181	2,917,803	△672,563	2,245,239

(注) 1. セグメント利益の調整額△672,563千円は管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配賦していない費用等であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	連結財務諸 表計上額 (注2)
	ヘルスケア 事業	医薬品事業	百貨店事業	飲食事業	その他事 業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	15,141,303	1,771,069	4,700,424	920,510	463,820	22,997,127	—	22,997,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	15,141,303	1,771,069	4,700,424	920,510	463,820	22,997,127	—	22,997,127
セグメント利益又は損 失(△)	1,990,632	179,365	△249,461	△354,797	5,979	1,571,717	△560,570	1,011,147

(注) 1. セグメント利益の調整額△560,570千円は管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配賦していない費用等であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)		当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	
1株当たり純資産額	833円44銭	1株当たり純資産額	884円53銭
1株当たり当期純利益	107円12銭	1株当たり当期純利益	52円33銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	106円30銭	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	52円08銭

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は次のとおりであります。

項 目	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,495,554	735,353
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,495,554	735,353
普通株式の期中平均株式数(株)	13,961,560	14,051,944
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	107,869	67,524
(うち新株予約権(株))	(107,869)	(67,524)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	連結子会社の(株)さいか屋 が発行のA種優先株式 1,483,036株	連結子会社の(株)さいか屋 が発行のA種優先株式 1,483,036株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。